



真宗大谷派 存明寺通信

NO.217

2024年(仏歴2555年) 1月1日



無 む
量 り
寿 よ
じゅ

存明寺の本堂に
いらすと
うた
の
む
の
な
の
な

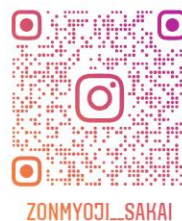
存明寺のHP <https://zonmyoji.jp>

存明寺 Instagram とHP 定期的に更新中!

お寺の活動や諸行事、掲示板の言葉や花手水、法話動画など、定期的に更新中です。ぜひご覧ください。

↓ インスタ ↓

↓ 存明寺 HP ↓



ZONMYOJI_SAKAI



親鸞 ゆさぶる言葉

慶ぶ
かなしく

『教行信証』(総序)より

親鸞 ゆさぶる言葉

住職 酒井義一

お釈迦様が覚りを開き、人間を照らす教えが人々に弘まっていた。人々はその教えに出会い、目を覚まし、感動し、慶んだことだろう。

こうして教えは言葉となり、光となり、あたたかさや厳しさをもって、人々をゆさぶっていった。

教えは、時代を超え、場所を超えた。超えたのはそれだけではなかった。教えは、特定の国の言葉という壁を越え、海も超えた。

なぜ教えは、いろいろなものを軽々と越えていったのだろう。それは、教えに出遇わずにはおられないものを、誰もが皆抱えていたからだろう。教えは、人間が抱える悲しみや苦しみ、不安や孤独、空しさや絶望を通して、人から人へと弘まっていたのである。

次の言葉は親鸞聖人の主著『教行信証総序』にある親鸞の感動の言葉である。

ここに愚禿釈の親鸞、慶ばし
いかな、西蕃・月支の聖典、
東夏・日域の師釈、遇いがたくし
て今遇うことを得たり。聞きがた
くして今聞くことを得たり。

やつと出遇えた、やつと聞こえた。そのことを、ただひたすら慶ぶ親鸞が、ここに在る。

今度は私たちの番だ。人と生まれ、苦悩を抱え、その苦悩を通して、教えに出遇う、ということ。

それは慶びなのだ、その道を生きよう、と。それが慶讃法要の底に流れる、親鸞から私への、熱いメッセージ。

そのことを強く思う。

了

月間『同朋』(東本願寺出版)に連載していた住職のコラム
2023年6月号より転載。

お寺の活動日記
報恩講

4年ぶりに通常の日程に戻して、報恩講法要が行われました。本堂は満堂となり、外に人があふれるほどに。大勢の方々のご参詣、本当に有難く思いました。

【門徒感話 憲司さん】

- ・恨みを抱く限り、恨みはどこまでも連続する。
- ・「恥ずべし、傷むべし」（親鸞）という自己凝視の言葉が響く。
- 【門徒感話 一真さん】
- ・人と人とのつながりや出遇いの不思議さ。
- ・生きている瞬間瞬間を大事にしていきたい。



↑ 報恩講、澤面さんのご法話。



↑ 小さな子供から大人まで…。



↑ 外にも人があふれました。

【報恩講法話 澤面宣了さん】
親鸞さんつて、人を生き生きさせるんだな。

- ・ここにはいないが、その人を念ずる時、その人は心の中にいてくれる。
- ・一人ひとりに顔がある。
- ・抱きしめられたいのちがあった。

しつとりとじつくりと語る宣了さんの声が、人々をやさしく包み込みました。最後には門徒交流会が行われ、一座建立。法話を聞いて感じたことを、有志が語られました。久しぶりの通常の日程での報恩講、いいものですね。次の報恩講までのやる気を賜った、そんなスタートの時でした。

お寺の活動日記
帰敬式

3年に一度行われる帰敬式が12月3日に執り行われました。今回の受式者は19名。式は緊張した雰囲気の中で始まりました。

おかみそりや勤行・誓いの言葉や法話と、厳粛に式は進みます。住職と相談して決めた仏教徒の名前・法名が授与されました。記念撮影のあとは、客殿にてお祝いのお齋（昼食）の時間です。おいしい料理にお酒もすすみ、一気に場が和みました。

一言スピーチでは、自己紹介、受式の動機や慶び、頂いた法名のご披露が行われました。ご一緒にお齋を頂く帰敬式は、

6年ぶりとなります。本当に久しぶりに、和やかで厳かに、時は流れていきました。

◆ 帰敬式受式者の方々

(敬称略)

- 荒井 浩子・青木 桂子
 - 伊藤 幸次・伊藤 理智
 - 梅田 幹男・梅田 容子
 - 大羽 勲・大羽 説子
 - 河合 則昭・河合 秀子
 - 河合 俊男・河合まり江
 - 重見 麗子・関口 昌雄
 - 竹田富士雄・竹田 邦子
 - 根本 紀子・長谷川静美
 - 山田 政孝
- 今回が11回目の帰敬式。受式者の合計は201名です。

親鸞に出会う・報恩講

仏弟子誕生・帰敬式



↑ 帰敬式、おかみそりの瞬間。



↑ 受式者とスタッフの集合写真。



↑ それぞれに笑顔あふれて…

お寺のひろば 2024年（令和6）

2024(令和6)年 お寺のひろば	
1月1日(月)	10時 修正会
3月9日(土)	14時 樹心の会
3月15日(金)	13時 おそうじの日
3月20日(水)	11時と13時 春のお彼岸法要
3月30日(土)	14時 グリーフケアのつどい
4月13日(土)	14時 樹心の会
4月26日(金)	10時 おみがきのつどい
5月3日(金)	14時 永代経法要(荒山淳氏)
5月11日(土)	14時 樹心の会
6月8日(土)	14時 樹心の会
6月29日(土)	14時 グリーフケアのつどい
7月1日(月)	13時 おそうじの日
7月6日(土)	11時 新盆法要
7月13日(土)	11時と13時 おぼん法要
7月下旬(未定)	夏の法話会(和田英昭氏)
8月下旬(日)	午後 存明寺・夏まつり
9月6日(金)	13時 おそうじの日
9月14日(土)	14時 樹心の会
9月22日(日)	11時と13時 秋のお彼岸法要
9月28日(土)	14時 グリーフケアのつどい
10月12日(土)	14時 樹心の会
10月25日(金)	10時 おみがきのつどい
11月2日(土)	14時 報恩講のゆうべ
3日(日)	報恩講(田中顕昭氏)
11月9日(土)	14時 樹心の会
12月14日(土)	14時 樹心の会
12月21日(土)	14時 グリーフケアのつどい
真宗本廟奉仕団(未定)	10月から12月・2泊3日

こども会・こども食堂・子育てサロン・真宗聖典輪読会も、随時開催中です。

お寺につどう人びと —親鸞に出会うお寺・存明寺—



今年(2024年)の特別企画!

その① 夏の法話会
 特別講師をお招きし夏の法話会を7月下旬にお寺で開催します。(期日は次号)
 講師 和田英昭さん(岐阜県・照明寺)

その② 真宗本廟奉仕団
 2泊3日の大人の修学旅行です。親鸞さまに出遇う旅、6年ぶりの開催です。
 時期 10月、または12月(期日は次号)
 行先 京都・東本願寺

★くわしいことは、次号でお知らせします。

東京都世田谷区北烏山4-15-1
 真宗大谷派 存明寺(ぞんみやうじ)
 住職 酒井義一(しゅゐいち)
 (釋諦信)
 〒157-0061 TEL 03-3300-5057
 FAX 03-3300-5880
 E-mail : sakai@zomyoji.jp



【あしがき】
 ▼昨年2023年は、親鸞聖人の誕生850年・立教開宗800年の「慶讃法要」の年でした。しかし、まだ終わったわけではありません。東京教区で、そしてここ存明寺でも慶讃法要をお勤めしたく思います。詳細は次号でお知らせできれば…。

▼表紙の写真は「朝日」でネット検索して出てきた写真です。場所も撮影者もわかりませんが、波立つ海の向こうから朝日が。現実には争いや不安が満ち満ちていますが、光に照らされながら生きていくことを目指していきたいものです。今年もどうぞよろしくお願いたします。

蕨